

～エネルギー/持続可能性や通信など7つの分野で、35才未満のイノベーターを募集～

MIT テクノロジーレビュー主催の世界的アワード『Innovators Under 35』 日本版 2021 年度の応募受付を開始

受賞者は、Google、Facebook、Twitter 創業者も過去に受賞した
米国 MIT 開催「Innovators Under 35」グローバル版にノミネートへ



MIT テクノロジーレビュー [日本版] (運営:株式会社角川アスキー総合研究所、代表取締役社長:加瀬典子) は、『Innovators Under 35 Japan 2021 (イノベーターズ・アンダー35 ジャパン 2021)』の応募を、2021年6月1日(火)より開始します。

■アワード概要

『Innovators Under 35』は、米国マサチューセッツ工科大学 (MIT) のメディア部門「MIT テクノロジーレビュー」が主催する国際アワードです。世界的な課題解決に取り組み、向こう数十年間の未来を形作る、独創的で才能ある 35 才未満の若きイノベーターの発掘を目的とし、過去には Google 共同創業者のセルゲイ・ブリン氏、Facebook 共同創業者兼会長兼 CEO のマーク・ザッカーバーグ氏も受賞するなど、国際的に権威あるアワードとして高く評価されています。

『Innovators Under 35 Japan』はその日本版にあたり、昨年に続く 2 回目の開催となります。本年度は「コンピューター/電子機器」、「ソフトウェア」、「輸送 (宇宙開発)」、「インターネット」、「AI/ロボット工学」の 5 分野に、新たに「通信」、「エネルギー/持続可能性」を加えた全 7 分野で活動する 35 歳未満の起業家、研究者、活動家を募集します。最大 15 名の受賞者は、「Innovators Under 35」グローバル版にノミネートとなり、都内開催予定の「Innovators Under 35 Japan Summit」で表彰式を実施する予定です。

<過去の主な受賞者>

グローバル版

- ・1999年: iRobot 共同創業者 ヘレン・グライナー氏
- ・2002年: Google 共同創業者 セルゲイ・ブリン氏
- ・2007年: Facebook 共同創業者兼会長兼 CEO マーク・ザッカーバーグ氏
- ・2008年: Twitter 共同経営者兼 CEO ジャック・ドーシー氏
- ・2012年: Dropbox 共同経営者兼 CEO ドリュー・ハウストン氏
- ・2017年: Apple/元 Google 機械学習研究者イアン・グッドフェロー氏

日本版 (以下五十音順)

- ・2020年: 筑波大学、ピクシーダストテクノロジーズ 落合 陽一氏
- ・2020年: ジーンクエスト 高橋祥子氏
- ・2020年: InternetBar.org/マイクロソフト 安田クリスチーナ氏
- ・2020年: イェール大学/半熟仮想 成田悠輔氏

■2021 年度 応募要項

応募期間：2021 年 6 月 1 日（火）～2021 年 8 月 31 日（火）

対象分野：

【コンピューター/電子機器】量子コンピューター、IoT 機器、VR/AR 機器、カメラ、ディスプレイなどのデバイス等

【ソフトウェア】OS、ミドルウェア、アプリケーション（スマホアプリ含む）、ブロックチェーンなどの暗号技術等

【インターネット】インターネットを利用したサービス、Web サイト、および関連技術等

【通信】5G、通信衛星、量子ネットワーク、放送関連技術、光伝送技術等

【AI/ロボット工学】機械学習/深層学習などの AI 技術、産業用/家庭用ロボット、自律運転車等

【輸送（宇宙開発含む）】人工衛星、宇宙船の開発/運用、宇宙探査、宇宙利用サービス、物流、ドローン等

【エネルギー/持続可能性】風力/太陽光発電、小型原子炉、蓄電池、冷暖房、淡水化、バイオマス等

応募対象：上記 7 分野で活躍する、大学、スタートアップ企業、大企業、政府機関、非営利団体などに属する研究者、起業家、活動家で、35 歳未満（2021 年 12 月 1 日時点）の方。

応募方法：専用下記専用 Web サイトからご本人が応募ください

※第三者による推薦（情報提供）も受け付けています。その場合も最終的には本人による応募が必須となります。

選考方法：MIT テクノロジーレビューの規定（グローバル共通）に基づき、厳正かつ公正な審査を実施。

各分野の専門家（専門機関の研究者、大学教授など）が審査し、MIT テクノロジーレビューが最終決定。

※審査員は決定次第、随時発表いたします。

選出人数：最大 15 人（2021 年 12 月発表予定）

選考者特典：以下特典が付与されます。

- ・「Innovators Under 35」グローバル版へのノミネート
- ・「Innovators Under 35」グローバルサイトへ日本版受賞者として掲載
- ・MIT テクノロジーレビュー[日本版]へ掲載
- ・「Innovators Under 35 Japan Summit（都内開催予定）」で表彰式を実施

新技術の開発、または既存技術の創造的な応用によって、世界的な課題解決に取り組み、向こう数十年間の未来を形作る、独創的な 35 歳未満の若き起業家、研究者、活動家のご応募をお待ちしております。

Innovators Under 35 Japan 2021 応募サイト

<https://events.technologyreview.jp/iu35/>



2020 年度授賞式の様子

■Innovators Under 35 Japan について

「Innovators Under 35」の第1回は1999年に始まり、マサチューセッツ工科大学（MIT）のキャンパスで毎年発表されるグローバル版に加えて、現在ではアジア、中国、欧州、インド、ラテンアメリカ、MENAのローカル版が各地域のパートナーのもとで開催されています。過去には、Google 共同創業者のセルゲイ・ブリン、Facebook 共同創業者兼会長兼 CEO のマーク・ザッカーバーグも受賞するなど、国際的に高く評価されている権威あるアワードです。日本版の受賞者は、翌年の「Innovators Under 35」のグローバル版にノミネートされ、審査対象となります。

Innovators Under 35 Japan 2020 公式サイト

※昨年度の開催実績はこちらからご覧ください

<https://events.technologyreview.jp/iu35/2020/>



■MIT テクノロジーレビューについて

『MITテクノロジーレビュー（MIT Technology Review）』は1899年に米国マサチューセッツ工科大学によって創設された、世界で最も歴史と権威があるテクノロジー誌です。米国版の読者層は、その8割超がテクノロジー部門の責任者であり、6割が経営層に読まれています。日本版は株式会社KADOKAWAの子会社である株式会社角川アスキー総合研究所が米Technology Review Inc.とのライセンス契約のもと、2016年10月から会員制Webメディアとして運営。2020年からは、紙媒体『MITテクノロジーレビュー [日本版]』も発行しています。

MIT Technology Review

Published by KADOKAWA / ASCII

[日本版] 公式サイト

<https://www.technologyreview.jp/>



■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、KADOKAWA グループに属する法人向けのシンクタンク、リサーチ、メディア企業です。KADOKAWA グループの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力に関する技術力を活かし、日本のメディア・コンテンツ産業に貢献すべく、課題となる重要テーマに日々取り組んでいます。

角川アスキー総合研究所 公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所

MIT テクノロジーレビュー Innovators Under 35 事務局

iu35@technologyreview.jp